

避難の心得

避難とは「難」を「避」けること。

災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則となりますが、自宅の災害リスクによっては、自宅での安全確保も可能なため、**安全な場所にいる人がリスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。**また、避難先は小中学校や市民センターだけではありません。**安全な場所に住んでいる親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。**

① 早めの避難を心がけましょう

浸水してからの避難は危険です。テレビ、ラジオやパソコンから情報収集し、身の危険を感じたら避難指示を待たずに自主的に避難しましょう。

② 動きやすい服装で避難しましょう

長靴は中に水が溜まってしまい、動きづらくなります。スニーカーなど脱げにくい靴で避難しましょう。非常時持ち出し品などはリュックに入れ、両手を自由に使えるようにしましょう。

③ ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、**思わぬ事態にあった時に危険**です。避難する際には、隣近所へ声をかけあい、集団での避難を心がけましょう。高齢者やお子さんがある場合は可能な範囲で助け合いましょう。

④ 足下に注意しましょう

氾濫水は濁っており**足下が見えません。**避難路にマンホールや側溝がある場合大変危険です。棒などで足下を確認しながら避難しましょう。

日頃からの備え

① 危険なエリアを確認しましょう

自宅や勤務先・学校の周辺、通勤・通学路など、日常生活で通ることが多い場所が洪水時に浸水するか確認しましょう。

② わが家の防災メモや非常時持ち出し品リストを活用しましょう

わが家の防災メモに、洪水が発生した場合の避難所などを記載しておきましょう。また、非常時持ち出し品リストで、最低限必要なものはチェックしておきましょう。

③ 防災訓練に積極的に参加しましょう

青森市では、市民の皆様も参加する防災訓練を定期的に行っています。いざという時に備えて積極的に参加しましょう。また、防災訓練に参加する際にはこのハザードマップを活用しましょう。

④ 洪水以外のハザードマップも確認しましょう

青森市では、この「洪水ハザードマップ」の他に、「津波ハザードマップ」、「土砂災害ハザードマップ」、「ため池ハザードマップ(ため池マップ)」、「浸水等実績マップ」を公表しています。青森市のホームページで公表していますので、併せてご確認ください。



あらかじめ危険な場所を確認

※一部イラストは国土交通省 HP 洪水ハザードマップイラスト集より https://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyo_keikaku/saigai/tisiki/hazardmap/illust.html

ハザードマップの見方

浸水深と避難行動

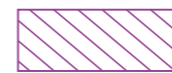
洪水が予想される場合は、**浸水想定区域外や避難場所、建築物等の上層階など、安全な場所へ避難することが基本**ですが、外への避難が危険な場合には、自宅の2階などに避難して救助を待ちましょう。

2階以上が浸水する場所では、早期に安全な場所へ立退き避難をしましょう。ただし、浸水しない階がある場合は、状況を踏まえ屋内での安全確保をすることも考えてみましょう。

※指定緊急避難場所・指定避難所の詳細は P33・34 をご確認ください。

浸水深の目安	緊急時の避難行動	基本的な避難行動
2階の屋根以上が浸水する程度 ~10.0m	2階以上が浸水する場所では、指定避難所や安全な場所へ早期に立退き避難！	避難場所への移動や、建築物等の上層階への移動など、浸水を避けて安全な場所へ立ち退く
2階まで浸水する程度 ~5.0m	ただし、浸水しない階がある場合は、状況を踏まえ屋内安全確保でも可	
1階が浸水する程度 ~3.0m	外への避難が危険な場合には自宅の2階などに避難	
大人の膝までつかう程度 ~0.5m		

氾濫流や河岸浸食が発生する恐れがある区域



木造家屋が倒壊するような堤防決壊に伴う氾濫流や、河岸浸食が発生する恐れがある区域です。早期に立退き避難をしましょう。

土砂災害（土石流・急傾斜地の崩壊・地滑り）

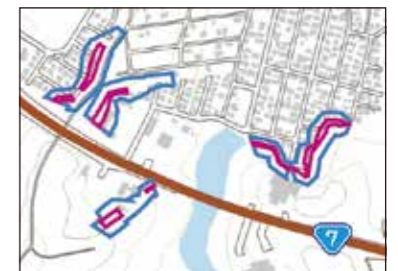


○土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域です。

○土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命又は身体に**著しい**危害が生じる恐れがある区域です。



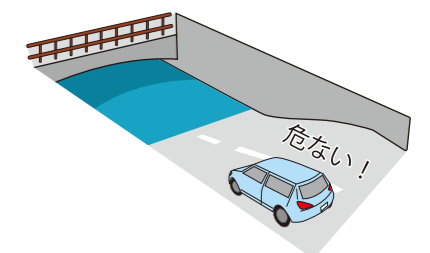
土砂災害の危険あり

地下道（アンダーパス）・地下駐車場



地下道や地下駐車場などの地下空間は、地上よりも**浸水スピードが速く、出入口から水が流入してくる可能性が高いため、避難が困難**となります。

浸水の恐れがあるときは、地下空間からは早めに避難しましょう。



地下道や地下駐車場は冠水しやすい